

双友会だより

発行

名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 生命・物質工学科
生体材料プログラム内 双友会
TEL (052)735-5277
(052)735-5257

ホームページ

<http://soyukai.web.nitech.ac.jp>

編集

双友会だより編集部

新任ご挨拶

平成20年8月吉日
双友会会長 市橋 洋志 (W40)



市橋 洋志 (W40)

今年度より、図らずも西尾前会長の後任として、重責を担う事になりました。

改めて、双友会の歴史を振り返りますと、明治41年(1908年)に名古屋高等工業学校の機械科として第一回の卒業生を送り出してちょうど100年目となります。双友会は全学的同窓会組織「名古屋工業会」の中における最初の基幹組織と聞いております。この間、諸先輩方より連綿と引き継がれた組織の維持はもちろん、なお一層の発展におよばずながら、全力を尽くす所存でございます。

ところで、前年度までの名工大100周年記念募金に際しましては、西尾前会長を始め、幹部の方々のご尽力、及び会員各位のご協力により、単科会の中で、抜群の実績をあげ双友会の面子を大いに施したしだいであり、厚く御礼申し上げます。

今年度は、名古屋工業会名古屋支部の運営当番(2年間)が当会に廻り、何が何でも他単科会に対し、面目が立つ様、頑張らなければなりません。又、先般の名古屋工業会総会においては、双友会を代表して、昭和37年卒業の西川尚武様に特別講演をして頂きました。私はもちろん、他の参加者も、講師の博学見識ぶりに非常に感銘を受けた事と思います。西川様には厚く御礼申し上げます。

一方、根底となる母校(母なる学校)の状況について鑑みますに、その時々における社会の技術的要望に応じて、大きく変化、発展をし続けております。その為、最近の当会入会予定者(卒業生)の専攻は、生命・物質工学とか、産業戦略工学という、私を含め、古い会員にとっては、よくわからない面があります。逆に、最近の新入会員にとっては、『双友会』及び『W』(WEAVE(織))の語源すら理解できないのが実情なのではないかと思っております。この流れの中で、同窓会の親睦団体としての双友会の組織の益々の活性化に努めてゆく所存でございます。

その為、第一に入会率の向上(既卒業生及び新卒業生に対する入会の働きかけ)を図りたいと思います。それに伴い、会の財政基盤も充実してくると思われれます。第二に大学との連携を充実させたいと思います。これには互いにメリットがあるようにならなければなりません。言い換えれば、各卒業年度間の連携を経糸(タテイト/WARP)として、各地区、職域などの連携を緯糸(ヨコイト/WFFT)とし、経緯(タテヨコ)しっかりと織り(WEAVE)なしてゆき、なおかつ学校、卒業生双方が手を携えてゆける体制作りが肝要かと思っております。会の発展、活性化のために会員の皆様の一層の御協力を御願い申し上げまして、新任の挨拶とさせていただきます。

平成19年度 双友会懇親会、 新入会員歓迎会 開催報告

平成19年度 双友会懇親会・新入会員歓迎会は平成19年10月26日(金)に名古屋工業大学学生会館において開催されました。午後5時より総会が行われ、幹事会より提出された平成18年度事業・会計報告、および新会長の選任、平成19年度行事予定・会計予算案について審議され、承認されました。さらに創立100周年事業での成果報告について報告がなされ、全ての議事を滞りなく終了し、閉会となりました。

午後6時より懇親会、ならびに新入生歓迎会が

W45 森川民雄 幹事長の進行のもとで開催されました。あいにくの天気にもかかわらず、本年度の参加者はW12卒業の方から新入会員である学部4年生の総勢92名で行われました。冒頭、西尾弘之会長(W37)から、会長引き継ぎ、百周年事業での成果報告に関して挨拶をいただきました。ついで、高橋清久プログラム主任から、旗幟科－紡織科－繊維工学科－繊維高分子工学科－高分子工学科－材料工学科－(現)生命物質工学科(生体材料プログラム)と学科の変遷を経てきたが、W科の精神は脈々と受け継がれており、紡織に根付いている知識や技術を昨今重視されている生体材料や環境材料に展開していくことで何か新しい科学を築けるかもしれないとの言葉がありました。また、名古屋工業会から常務理事 道家清正様にお越しいただき、名古屋工業会と双友会との関係、百周年事業に対する双友会の協力状況についてわかりやすく説明をしていただきました。

次いで、田中铁三郎氏(W12)の御発声による乾杯で歓談に入りました。本年度も企業で活躍されているOBにも参加していただき、歓談の間に鬼頭氏(東海ゴム工業㈱)、林氏(日東紡)、大坪氏(アイシン精機㈱)、此川氏(三菱レイヨン㈱)、柴田氏(JSR㈱)から一言ずついただきました。卒業後1～2年といったフレッシュな方が多く、近い将来に社会にはばたく4年生にむけて熱いメッセージがあり、学生のうちにしかできない経験を積極的に実践し、交流の輪を広めておくことが今後の社会生活の上で大事であることを教わりました。大先輩からも飛び入りでメッセージをいただき、大阪支部 杉浦潔彦氏(W34)、松下正三氏(W35)から、名工大で培われた人との繋がりは将来も続くもので、それは各個人の財産であることを教わり、長谷川隆男氏(W38)からも「明るく、仲良く、元気



懇親会・新入会員歓迎会の様子

よく」学生生活を愉快なものにするよう叱咤激励を受けました。

宴たけなわの中、魚住養正氏(W22)の音頭のもとで万歳三唱を行い、会中は締めとなりました。いつしか雨も上がり、学生にとっても頼りがいのある諸先輩たちとの交流が得られた有意義な懇親会となりました。

事務局だより

- 住所等の誤り、変更がございましたら下記双友会本部事務局までご連絡ください。
- 会員のご名誉・各受賞に関し、ご存じでしたら事務局までご一報ください。
- 双友会だよりの寄稿文を募集しておりますので、事務局までご送付ください。
- 名古屋工業会では会員の増強を行っております。工業会に未加入の方はこの機会に是非ご加入頂きますようお願い申し上げます。



平成19年度 双友会懇親会・新入会員歓迎会にて(参加者多数のため2枚に分けて撮影)

～ 会員 寄稿 ～

W30募金活動とクラス会

W30クラス生存者は23名。平成19年に終了した名工大創立100周年記念募金にこの23名クラス全員が応募できたことを双友会前会長西尾さんの勧めもあってここに報告します。他のクラスごとの対生存者募金率は分かりませんが、100%達成は喜ばしい結果だと自負しています。(50年も前の卒業時の就職会社から履歴をたどったり、インターネットで高校の同窓会まで連絡を取ったりして、ついにクラス全員の消息と住所が判明)

平成17年2月、双友会幹事長森川さんから「双友会W30だけが学年幹事が歯抜けになっている。早急に選出して名工大100周年事業の募金活動に協力してほしい」というメールを受信。丁度タイミングよくその年6月にホテル竹島でクラス会が設定されていたので、当日、宴会前に幹事を選出。私がお引き受けすることとなり、幹事就任挨拶で「今年の幹事の仕事は名工大100周年事業の募金活動推進だから是非協力を」とお願いしたところ、なんと挨拶が終わるや否や、「今日の出席者全員参加」が動議され直ちにその場で一万円ずつ徴収されました。すごい団結です。「欠席者分も立て替えたかどうか」「クラス全員の募金参加を達成しよう」と氣勢があがり、翌日から募金の呼びかけ開始。

毎月、幹事長森川さんに入金状況を問い合わせし、未納の人には電話で個別依頼。「強制的ではないだろう」と言われながらも、ついにクラス幹事決定後わずか半年で、W30全員募金参加が完了しました。早速、森川幹事長に報告すると「全員とはすばらしい団結ですね」とお褒め頂きました。

W30は平成14年から西浦・鳥羽・三谷・蒲郡・湯の山・下呂温泉と毎年近県の温泉めぐりクラス会を続けて6年。この間の顔ぶれはほぼ固定されていたので、一人でも多くの参加を期待して、今年は名古屋駅付近での日帰りコースを考え、丁度今年3月に一周年を迎えたミッドランドタワー41階の「人形町今半ごやミッドランドスクエア店」に設定。開催日は5月23日。参加者は13名でしたが、これまででは最も多い参加者となり、明治28年東京で創業の老舗「人形町今半」の牛肉を堪能しながら、想い出話、健康管理、旅行、趣味など語りつくせない内に次回の再会を約束してお開きとなりました。

われわれは今話題の後期高齢者の仲間入り。来年は喜寿を迎えます。今後とも毎年クラス会を続け、元気な顔で励ましあいながら余生を楽しみたいと思っています。最後に療養中の人・通院に多忙な人たちがクラス会に参加出来ますようエールを送ります。

柴田尚幸 記



出席者 前列左から酒井喜之・生川善司・野々垣晃男・青木大三・南谷 洋・鈴木隆夫
後列左から水谷 正・村山幸忠・中村和雄・岸 良幸・鈴木貴詞・村瀬 章・柴田尚幸
以上13名(敬称略)

～ 学 内 近 況 ～

W科の発展を祈る

高橋 清久

私は1972年4月からW科にお世話になりました。退職に当りW科の変遷を略記します。明治38年(1905年)名古屋高等工業学校が設置され、当初、機織(W)科(学生数15名)、土木科(30名)、建築科(20名)、色染科(10名)の4学科でスタート。W科は1913年紡織科、1949年名古屋工業大学紡織学科、1960年繊維工学科、1966年繊維高分子工学科、1980年高分子工学科、1985年無機・金属と合併、材料工学科となり、Wは有機材料コースと改称、2004年名工大独法化に際して、応用化学科と合併、生命・物質工学科となり、Wは生体材料系プログラムと改称。これら改組は、わがW科にとって必ずしも最善ではなかった。W科は附属図書館長や副学長を執行部へ出す等、大学運営に協力的で、その関係上、大学全体のために犠牲にならざるを得ないことが多かった様に思われる。それにも拘らず、W科卒業生の社会における活躍はめざましいものがあり、頼もしい限りであります。現役学生、教職員も多く恩恵を受けています。輝かしい伝統の下、名工大W科並びに双友会の今後益々の発展と、卒業生の皆様のご健康、ご活躍をお祈り致します。永年に亘り、本当に有難うございました。

新専攻の創設

2008年4月より本学大学院に未来材料創成工学専攻と創成シミュレーション工学専攻の2専攻が新たに創設されました。未来材料創成工学専攻には木下研究室、稲井・高須研究室が所属しています。本専攻は、ナノスケールの根本原理を基盤とし、環境調和性、エネルギー変換効率、生体機能性に優れた未来材料の設計、創製を支えるために新たに設立されました。

21世紀の暮らしには、自然環境、人間生活の質的豊かさを考慮する必要があり、このような社会を支えるためには、より優れた機能と安全・快適性のある夢の未来材料の創製が必要となります。そこで、環境調和セラミックス工学、エネルギー変換工学、ナノ・ライフ変換科学に関する基礎から応用に至る専門分野について高度な教育と研究を行い、広い見地で専門知識、技術を持ち、わが国のみならず世界的に活躍できるリーダーを育成します。

新専攻HP : <http://fm.web.nitech.ac.jp/>

お く や み

本学名誉教授 平林 忠道先生(前 生命・物質工学科 生体材料プログラム、都市循環システム工学専攻)が2008年1月20日(日)にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成19年度研究助成報告

双友会では、大学院や学部にて在学中に学会(各種学術団体などが開催する研究成果発表会)にて研究発表を行った者に対し、「研究助成金」(1回1万円、年1回まで、ただし東海3県を除く)を贈呈しています。平成19年度は下記に示した28件の学会発表に対し、研究助成金を贈呈しました。会員の皆様に謹んで御礼申し上げます。

平成19年5月 第56回高分子学会年次大会 27名
6月 第46回NMR討論会 1名

学会に参加して

去る五月の学会で、丁度一年ぶりにできた友に再会しました。互いに日々の研鑽の成果を議しながら、新たな友を囲み、談笑すると共に秋での再会を約束しました。学会は若手にとって自らの研究結果を発表する貴重な場であると同時に、刺激し合い、人と人をつないでくれる場でもありました。今回このような催しに参加できたのも、ひとえに双友会の先輩方の多大なるご支援の賜物であり、深く感謝申し上げますと共に、来春からは支える側になることを意に固め、新たなつながりを大切にしていきたいと思う所存であります。

博士前期課程2年 杉本 新理

会費納入のお願い

双友会の運営は会費諸兄姉の年会費(2,000円)にかかっています。会費納入額、年会費納入者は年々減少傾向にあり、近い将来、財源枯渇の危機を迎える深刻な状況です。本双友会の円滑な運営の為にどうか会費を納めてくださるよう会員諸兄姉のご理解とご協力をお願いします。

個人年会費などのご納入は①銀行振込、または②郵便振込でお願いします。個人会費(2,000円)、終身会費(30,000円)を以下の①、あるいは②の方法でご送金をお願いします。

- ① 銀行振込の場合：下の口座(双友会会費用)に振り込んでください。
三井住友銀行・上前津支店(普通口座)
(店番号)482- (口座番号)6309868
(登録名)双友会
- ② 郵便振込の場合：同封の振込用紙をご利用ください。

平成19年度卒業生進路

平成19年度の卒業生の就職先を紹介します。

大学院：トヨタ自動車、ブラザー工業、住友化学、東海理化、日本特殊陶業、アイシン精機、旭化成、コニカミノルタ、JSR、住化カラー、住友ゴム工業、住友3M、セーレン株式会社、ティーアイビーシー、帝人、東海ゴム、凸版印刷、豊田自動織機、日本ペイント、フジインコーポレーテッド、三井化学、三菱レーヨン
学部：青山製作所、イノアック、ウッドワン、グンゼ、TDK、トヨタテクニカルディベロップメント、トヨタ紡織、日東紡、郵政公社、名古屋工業大学大学院

平成20年度『双友会総会・懇親会』のご案内

今年度の「双友会総会・懇親会」を下記の要領にて開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。参加希望の方は、枠内必要事項明記の上、FAX：052-735-5277、E-mail：yamamoto.katsuhiko@nitech.ac.jp、または郵送(末頁の事務局)で事務局(山本勝宏)までご連絡願います。

会場 **総会：**名古屋工業大学 大学会館 2階 第3集会室、**懇親会：**大学会館 1階 大食堂
日時 平成20年10月24日(金)
17:00～17:45 総会
18:00～19:30 懇親会・新入会員歓迎会
会費 10,000円(当日徴収)

平成20年度 双友会総会、懇親会・新入会員歓迎会 参加申込書

総会 参加 ・ 不参加 / 懇親会・歓迎会 参加 ・ 不参加

ご氏名： _____ ご卒業年度： _____

ご住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

法人でご参加の方は下記にもご記入お願いいたします。

貴社名(部署名)： _____

ご住所：〒 _____

TEL： _____

～～「双友会東海地区懇親会」のご案内～～

標記の件、下記要領にて開催致します。万障お繰り合わせの上、御参加下さいますようご案内申し上げます。なお参加申し込みは下記をご利用願います。

会場 メルパーク名古屋（千種駅横）
 〒461-0004 名古屋市東区葵3-16-16 TEL 052-937-3535（代）
日時 平成20年11月22日（土） 18：00～
会費 10,000円

参加希望の方は、枠内必要事項明記の上、F A X、E-m a i l、または郵便でお送り願います。

連絡先 吉木 満
 〒472-0022 知立市山屋敷町富士塚1-281
 F A X : 0566-81-5366、E-m a i l : m.yoshiki@toyota—boshoku.co.jp

E-mailでの申し込みは件名を「双友会東海地区懇親会参加」として下さい。

懇親会ですので、軽装にて御参加下さい。

<双友会東海地区懇親会>参加申込書

ご氏名：
_____ご卒業年次：
_____ご住所：〒

_____TEL ：
_____FAX ：
_____E-mail：

終身会員制度のご案内

終身会費として30,000円を納入されますと以後の会費は免除される制度です。平成13年度から平成20年8月7日までに終身会員になられた方は次の通りです。(記載漏れなどございましたら事務局までご連絡ください。)

終身会員(120名)(敬称略) 田中鉄三郎、山口武雄、富田義晴、太田鑑吾、柏木鉄雄、鈴木重夫、竹村皎、木村常男、須加井喬、鷺田一雄、井田武彦、今井博、玉田欽也、瀧澤直人、伊藤晃、片岡忠明、川口文夫、日比宣夫、福田竺、奥村巳善、兼松勇夫、杉浦潔彦、長崎義一、丸地孝男、宮崎幹士、森川勲、氏原義文、酒井麓郎、山口儀康、横地邦廣、蜂須賀辰雄、青山實、赤塚正明、伊藤周雄、西尾弘之、西川尚武、堀紀久雄、井塚淑夫、丹羽信男、長谷川隆男、伊藤弘、神谷昇、城山義見、高橋正清、浜島徳充、市橋洋志、今井啓裕、北村公英、後藤共子、長島徹、西澤郁朗、酒井敏彦、椿泰広、長江正純、印藤矯、牧野昭二、伊藤哲夫、谷岡明彦、水野和博、森川民雄、山中一、山本恒男、森田健次、浅井幹夫、佐藤紀夫、亀岡直樹、三宅宣幸、采誠次、矢部敏之、加納章、朝倉睦美、嵯峨久直、小谷一郎、三上鉄也、水野喜仁、伊藤聰、榊原啓介、松村秀司、山田基美子、吉木満、荒川みはる、伊藤健一郎、杉村貴代、鈴木司朗、木村敦志、松野一郎、小野晃、山本武志、永田寛知、青木知明、片岡真理、小塚佳明、植手貴夫、濱口尚久、松田淳二、安田正弘、鹿糠悟、佐藤嘉洋、冬頭美乃、鈴木晃、林修二郎、山本勝宏、木野喜隆、長坂直紀、土井智清、佐藤佳治、岡恭子、原滋郎、井上慎一郎、黒川裕司、大室幸絵、中村賢一、辻隆幸、小森久敏、杉野裕介、竹内孝行、中井祐介、堀部峰雄、森下豪人、久保田篤優

平成19年度事業報告

- 幹事会企画委員会 平成19年6月17日(金)
2号館802A会議室 参加者 4名
- 幹事会 平成19年6月22日(金)
2号館802A会議室 参加者 20名
- 総会企画委員会、
会誌編集委員会 平成19年8月10日(金)
2号館802A会議室 参加者 4名
- 双友会だより(第23号)発行
平成19年10月1日(月)
- 総会 平成19年10月26日(金)
大学会館3階準備室 参加者 19名
- 懇親会・新入会員歓迎会 平成19年10月26日(金)
大学会館5,6集会室 参加者 92名

○臨時幹事会(名古屋支部担当幹事の運営について)

- 平成20年1月6日(日)
2号館802A会議室 参加者 12名
- 執行部臨時会議 平成20年3月26日(水)
2号館802A会議室 参加者 9名

平成19年度会計報告
(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

収入の部	予算	決算	差額
年会費	400,000	311,460	-88,540
終身会費	180,000	450,000	270,000
入会金	108,000	104,000	-4,000
総会懇親会参加費	250,000	333,370	83,370
会誌広告料	120,000	200,000	80,000
工業会100周年	228,000	507,382	279,382
大学からの寄付	900,000	1,086,753	186,753
工業会支援金	0	70,000	70,000
利息	500	6,303	5,803
小計	2,186,500	3,069,268	882,768
平成18年度からの繰越金	3,252,375	3,252,375	0
計	5,438,875	6,321,643	882,768

支出の部	予算	決算	差額
総会懇親会費	250,000	226,070	-23,930
会誌印刷製本費	300,000	393,994	93,994
郵送費	5,000	22,566	17,566
通信費	300,000	280,000	-20,000
研究助成金	30,000	38,714	8,714
会議費	120,000	121,134	1,134
事務費	20,000	35,000	15,000
アルバイト代	30,000	30,000	0
旅費	20,000	10,000	-10,000
慶弔費	200,000	215,010	15,010
募金依頼発送費	1,000	630	-370
払込手数料			
小計	1,276,000	1,373,118	97,118
平成20年度への繰越金	4,162,875	4,948,525	785,650
計	5,438,875	6,321,643	882,768

連絡先

- ◎大阪支部
支部長：松下正三 (W35) 〒662-0827 兵庫県西宮市岡田山6-15 TEL 0798-52-0692
幹事長：堀紀久雄 (W37) 〒665-0062 兵庫県宝塚市仁川高台1-6-14 TEL 0798-54-3496
- ◎東京支部
支部長：山田 實 (W23) 〒241-0816 神奈川県横浜市旭区笹野台1-10-23 TEL 045-391-4332
幹事長：佐藤 誠 (W33) 〒277-0043 千葉県柏市南逆井2-10-17 TEL 0471-74-7329
幹事長：飯田秀郎 (W33) 〒134-0081 東京都江戸川区北葛西5-5-2-502 TEL 03-3688-1961
- ◎東海支部
支部長：市橋洋志 (W40) 〒464-0056 愛知県名古屋千種区月見坂町1-22 TEL 052-751-4671
幹事長：森川民雄 (W45) 〒464-0063 愛知県名古屋千種区西山元町1-63 TEL 052-751-6855
- ◎双友会本部事務局
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 生命・物質工学科 生体材料プログラム
TEL 052-735-5277 (山本勝宏)、052-735-5257 (永田謙二)
教員連絡先は生命・物質工学科HPをご覧ください：<http://www.lme.nitech.ac.jp/staff-seitai.html>